

木津川市の現代アートを活かしたまちづくり

木津川アート総合プロデューサー 佐藤 啓子
京都府 木津川市 観光商工課 ○西村 和将

1.活動方針・目的

3町が合併した市であるため、市民が自分達の住むまちを見つめなおすきっかけづくりとして誕生したのが、現代アートを活用したまちづくり事業「木津川アート」です。

木津川アートは市内の様々な場所を舞台にすることで、地元の方には、まちの魅力の発掘や再発見を、市外には市の魅力を発信しながら、市民同士の交流はもとより市内外の交流人口を増加させることにより旧町の垣根を無くし、自分たちの新しい市の魅力を発信するきっかけづくりとして進めています。

2.活動内容

木津川アートは、古民家や日常的な空間に芸術作品を展示するイベントです。平成22年度に第1回を開催し、以降3年にわたり、毎年秋に開催してきました。

事業の運営は、観光協会に委託し総合プロデューサー・観光協会・市を本部として、ボランティアと実行委員会を構成していますが、実際には総合プロデューサーを中心に集まったボランティアが企画段階から会場探しや瓦版の発行、当日のマップ作成まで、すべてを手作りで行っています。

主なボランティアの活動としては、スタッフが集い事業内容を企画するミーティング、作家のための空間探しツアーなどで空腹を満たしてくれる「ぶたじる隊」、会場となる場所を清掃する「おそうじ隊」、イベント期間中作品の見守りをしてくれる「みまもり隊」、さらに小学校での取り組みでは「給食係」も登場しました。

こうしたボランティアのもてなしの心が、作家をはじめとした関係者だけでなく、イベントに来場される方にも通じ、あらたな交流も生まれています。

3.他の活動団体の参考となる事例

平成24年度は、閉校の小学校を舞台に「1日小学生になろう」をコンセプトに周辺空間を活用して開催しましたが、開催エリアを小学校周辺地域に限定したことで、地域住民との関係性がこれまで以上に密度の高いものとなり、地域主催の行事に参加作家やボランティアなどの関係者が積極的に参加をしたり、地域住民の方が、自ら自宅をもてなしの場として開放するなど、主催者と地域が交流する機会も増えました。

4.今後の課題等

事業の形態や規模、開催地域を含め定型化には至っていません。また持続性を確保するための財源の確保や市民ボランティアを運営主体とした組織の基盤強化が課題となっています。



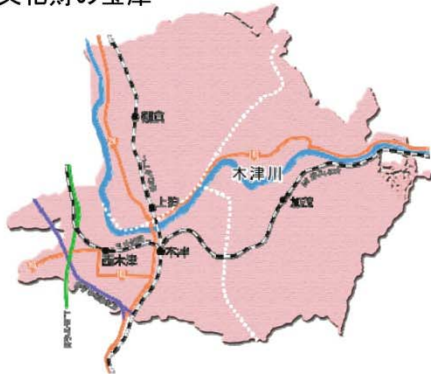
木津川アート

木津川市の現代アートを活かしたまちづくり

木津川アートプロジェクト
(京都府木津川市)

木津川市について

- 平成19年3月12日 3つの町が合併
- 国家プロジェクト
「関西文化学術研究都市」の中核地
⇒高い人口増加率
※参考:人口 72,283人(平成26年1月1日現在)
66,580人(平成19年3月末)
- 文化財の宝庫



3つの町がひとつになるということ



市の魅力を見つめ・創造し
発信するための大きな機会



- ① 平成22年
平城遷都1300年祭(奈良県)
- ② 平成23年
第26回国民文化祭(京都府)

木津川市らしさの発信

(合併に起因する課題) 市としての一体感の希薄

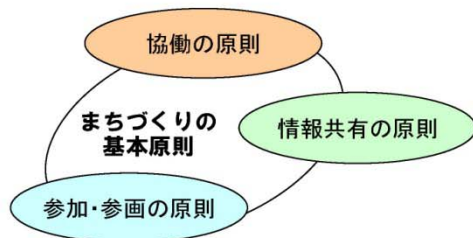
- 市民が自分達の住むまちを見つめなおすきっかけづくり
 - 市の魅力や文化を市内外に発信すること
- ⇒ 現代アートを活用したまちづくり事業「木津川アート」の誕生



2

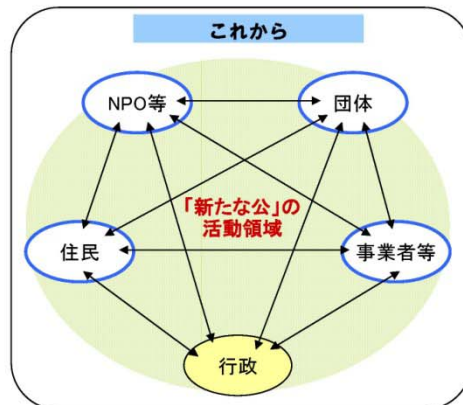
木津川アートはまちづくり

3つのまちづくりの基本原則(基本構想)



木津川アート会場の
清掃を行うボラン
ティアスタッフ

総合計画において
「新たな公」のイメージを明確化



3

これまでに3回開催

2010 ～流れ その先に～

開催期間: 12日間 集客数: 20,823人(12か所)
ボランティア数: 93人 作家数: 49組

2011 ～明日への記憶～

開催期間: 11日間 集客数: 59,485人(24か所)
ボランティア数: 108人 作家数: 37組

2012 ～1日小学生になろう～

開催期間: 16日間 集客数: 5,900人(1か所)
ボランティア数: 99人 作家数: 42組

2014 ～まち 100年の邂逅(かいこう)～

開催期間: 11月2日～11月15日(14日間)
作家数: 45組程度

集客数: ??? = まちの魅力を知ってくださる方



毎回作成するドキュメントブック



木津川アート

4

こんな感じです ～笑顔が多い～



木津川アート

5

こんな感じです ～新★再発見～



 木津川アート

6

支えてくれる「人の力」

▼おそうじ隊



▼ぶたじる隊



▼みまもり隊



▲給食係



▲地元のみなさんも一緒に



▲地元イベントにも参加



 木津川アート

7

アートが創り出す魅力・人の力

中心となるボランティアの拡がり

運営主体の基盤づくり



持続性に向けた財源の確保



木津川アート

8

(最後に) 今年は11月2日～11月15日

木津川アート

検索



～アクセス～

意外と近いかもしれません
近鉄でどうぞ!!

最寄駅

「近鉄高の原駅」

- 大阪難波から約40分
(大和西大寺乗り換え)
- 三宮から約90分
(大和西大寺乗り換え)
- 京都から約40分
(乗り換えなし)
- 奈良から約10分
(乗り換えなし)



木津川アート

9